

フード連合 労働安全衛生ニュース

発行日：2010年9月13日 発行：フード連合(労働局) HP <http://www.jfu.or.jp/>

死亡事故が発生しています！

ワースト第2位(321件)

事例1 「はさまれ」

A工場の製造ラインで、
製品パレットを搬入するための
昇降リフターにおける死亡事故
被災者 21歳の女性
臨時従業員

事例2 「巻き込まれ」

B工場の製造機械のスイッチの
操作ミスによる死亡事故
被災者 39歳の男性
パート

事例3 「交通事故」

バイクでC事業所へ通勤する途上
でのスリップによる転倒死亡事故
被災者 36歳の男性
正社員

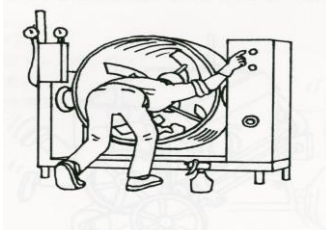
ワースト第1位(655件)

二度とこのような災害が発生させないために！

- ① 会社任せでなく、労働災害再発防止に向けた安全衛生活動(職場点検)をしよう！
- ② あなたの職場は、「安全第一」になっていますか？「生産・コスト第一」になっていませんか？
- ③ ゴール(これだけやれば充分)はないと肝に銘じよう！

次ページ以降で7～8月に実施致しました2009年度「労働安全衛生活動」取り組み調査の結果についてご報告致します。

内容につきましては、各単組の「労働安全衛生活動」の取り組みについて、2009年4月～2010年3月までの期間に発生した労働災害についてです。なお、各単組からご報告頂いた労働災害事故事例の中から労働局で選ばせて頂いた事例を掲載しております。



STOP 労災・死亡事故！

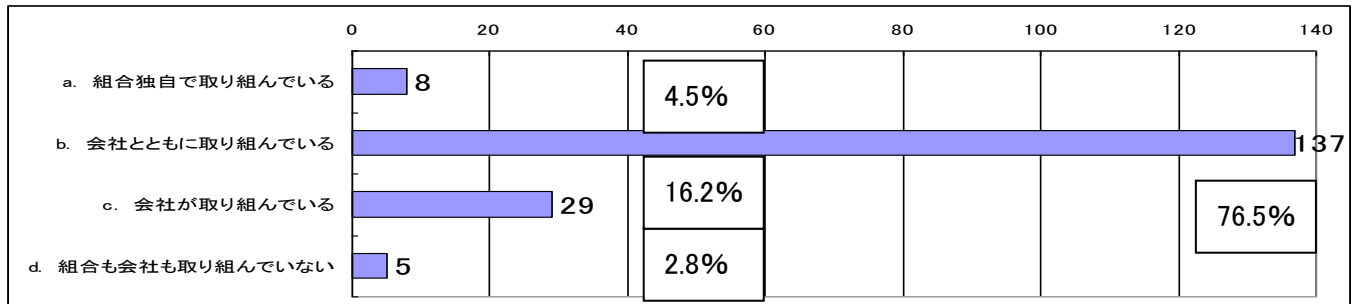


2009 年度「労働安全衛生活動」取り組み調査結果

報告組合 183 組合（昨年 166 組合 回収率 63.3%）

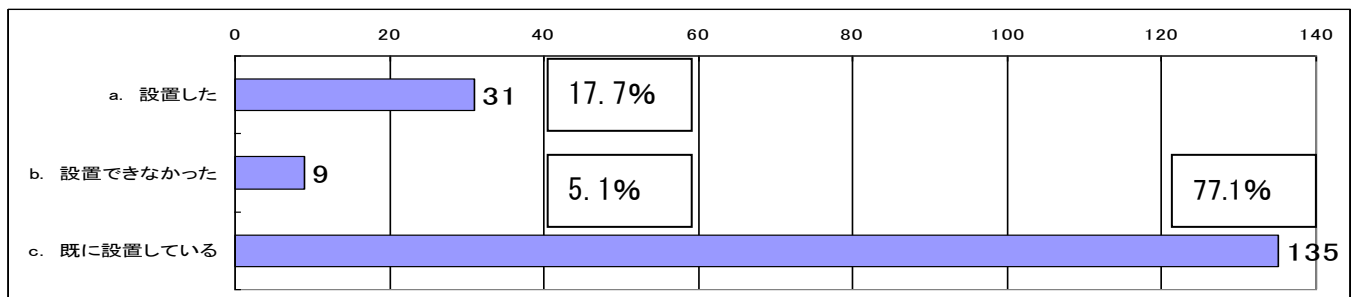
1. 2009 年度の職場における労働安全衛生活動の取り組みについて

(1) 職場の総点検活動や安全パトロールについて



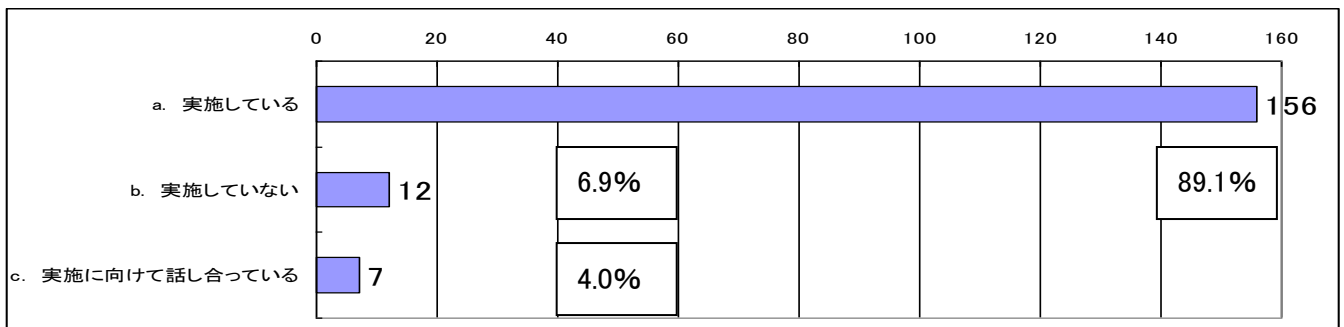
◆ 職場の総点検活動や安全パトロールは、会社の取り組みを含め、9割以上が取り組んでいる。

(2) 安全衛生委員会について



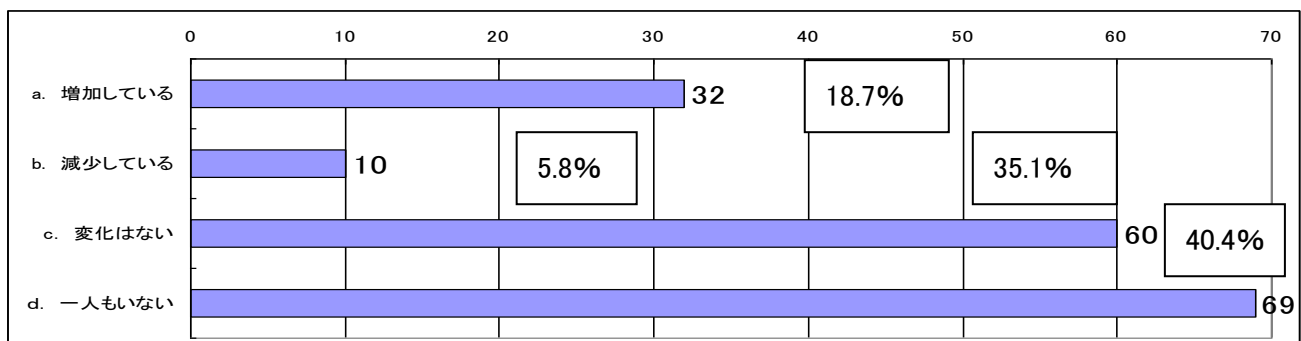
◆ 166 組合(94.8%)が安全衛生委員会を設置しているが、9 組合(5.1%)が設置できていない。

(3) 月 1 回以上の委員会の開催について



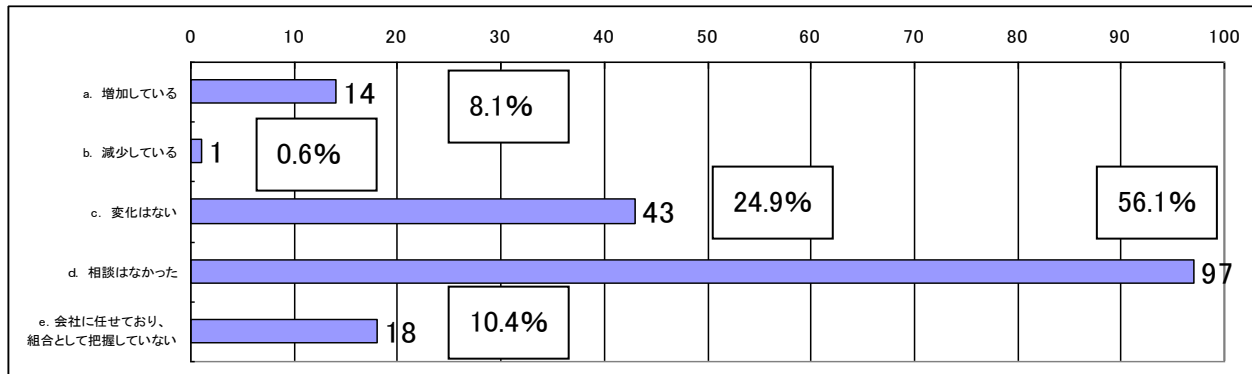
◆ 調査報告組合のうち9割弱の組合が、月 1 回以上委員会を開催している。

(4) メンタルヘルス関係で休んでいる労働者(休業者)について



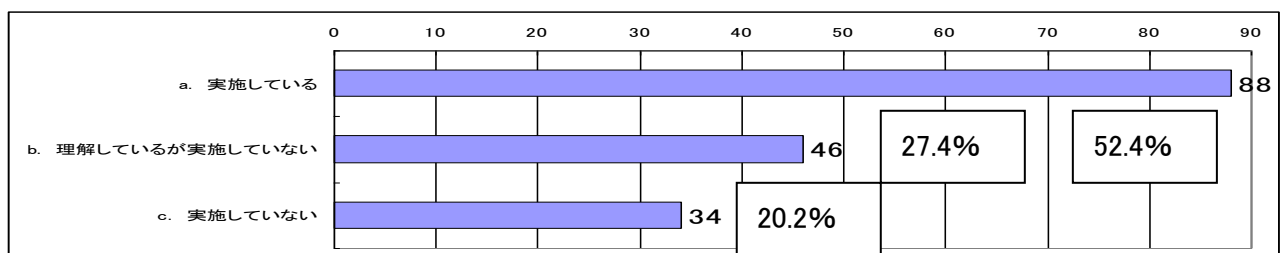
◆ 3割以上の組合が「変化はない」と回答しているが、2割弱の組合で休業者は増加傾向にある。

(5) メンタルヘルスに関して、労働者から労働組合への相談状況について



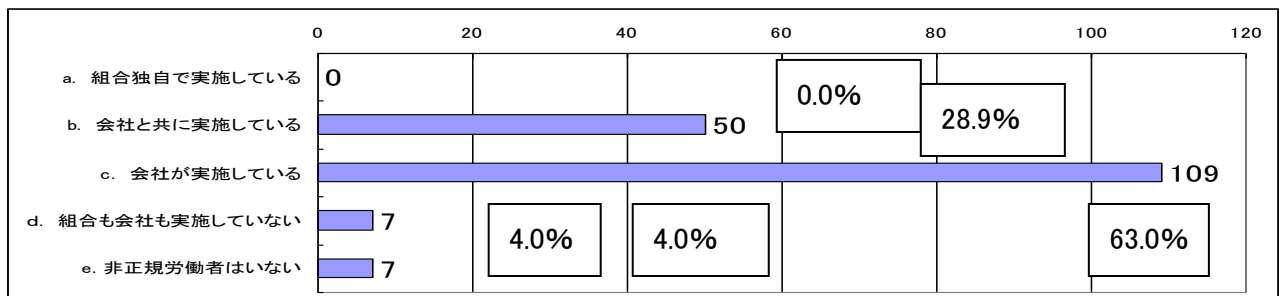
◆ 5割以上の組合が「相談はなかった」と回答しているが、1割弱の組合で相談件数は増加傾向にある。会社に任せており、組合として把握していないとする組合も18組合(10.4%)あった。

(6) リスクアセスメントについて



◆ リスクアセスメントを実施している組合は5割強であり、取り組みが遅れている。組合内で、リスクアセスメントについての理解を深め、安全衛生委員会で導入を検討しよう。

(7) 非正規労働者(パート、アルバイト、派遣労働者、非組合員含む)に対する安全衛生教育について



◆ 会社が実施している組合は6割以上であるのに対し、組合独自で実施している組合は存在しない。会社と共に実施することも含めて、非正規労働者に対する安全衛生教育を強化しよう。

(8) その他の取り組みについて

災害発生時には、類似災害防止のための報告文書を全支部に発信して、災害情報の共有化を図ったり、学習会や安全教育を通じて専門的知識の習得に努める組合がある一方で、会社に任せきりで組合としての独自の活動をしていないとの回答も見られた。

2. 2009年4月～2010年3月までの期間に発生した労働災害の件数について

〈報告件数の多い順ワースト3!〉

- 1位 h. 交通事故 (655件)
- 2位 f. はさまれ・巻き込まれ(321件)
- 3位 b. 転倒 (285件)

2006年調査から4年連続で、上記の事故はワースト3位のいずれかになっている!!



	件数		%		昨 年 比
	今年	前年	今年	前年	
a. 墜落・転落	112	(92)	4.6	(5.7)	↗
b. 転倒	285	(247)	11.7	(15.3)	↗
c. 飛来・落下	101	(81)	4.1	(5.0)	↗
d. 崩壊・倒壊	6	(3)	0.2	(0.2)	↗
e. 激突され	66	(52)	2.7	(3.2)	↗
f. はさまれ・巻き	321	(360)	13.1	(22.3)	↘
g. 高温・低温物と	101	(76)	4.1	(4.7)	↗
h. 交通事故	655	(194)	26.8	(12.0)	↗
i. その他	795	(511)	32.6	(31.6)	↗
合計	2442	1616	100.0	(100.0)	↗

※ カッコ内は昨年報告件数

【報告の傾向】全体で2442件の報告があった。

- ◆ 型別にみると、「h.交通事故」については655件(26.8%)と一番多い件数となっている。多くは「営業車による車庫入時のこすれ」等、ちょっとした不注意から起こる事故である。しかし、このようなちょっとした不注意が死亡事故を引き起こす場合もある。十分な休養をとることも必要。交通ルールを守り、安全運転を！
- ◆ 二番目に多いのが「f. はさまれ・巻き込まれ」321件(13.1%)となっている。機械に不具合が生じた時に、スイッチをONにしたまま対応した場合の「はさまれ・巻き込まれ」が多い。
動いているものには、手を出さない、必ず機械のスイッチをOFFにしてから対応することを厳守！
- ◆ 三番目に多いのが「b.転倒」285件(11.7%)となっている。両手に物を持ったまま階段の上り下りをするのはやめよう。手すりにつかまり、足元に注意し、滑りやすい所は直ちに改善を！
- ◆ 「i.その他」795件(32.6%)の内容としては、「作業中のカッター・ナイフなどによる切り傷」、「荷物など重い物を持ったことによる腰痛」などが多く報告されている。特に、食肉部会では、原料肉の処理中にナイフ・包丁等で手を切ってしまう場合が多くなっている。

労働災害事故事例（期間：2009年4月～2010年3月）

◆ 年齢・性別・雇用形態 ◆ 被災者の勤続・経験	◆ 災害発生状況 ① 場所 ② 作業内容 ③ 発生状況 ④ 災害の状態	◆ 組合・安全委員会等の対応
(事例1) 48歳・男性・正社員 勤続30年・職場経験20年	① 竹輪坐り庫 ② 安全カバーを外して、シャフトの汚れを拭いているとき ③ 右腕の袖がギアに巻き込まれる ④ 休業12日、通院90日 右上腕部の皮膚を幅5cm長さ10cmにわたり欠損した。	安全カバーを外すとギアのスイッチが入らないようにした。
(事例2) 39歳・男性・正社員 勤続18年・職場経験10年	① スーパーマーケットの納品口 ② 製品(飲料)を積んだ台車を移動中 ③ 台車が溝にはまり転倒し、本人に倒れてきた。 ④ 腰椎圧迫骨折	再発防止の啓発として、作業中における周囲の安全確認徹底を社内に周知した。